

# YMCA 大阪青年 1.2

## 私たち、YMCAの目指すもの



2022年11月1日～4日、6YMCA協議会、メトロポリタンYMCAシンガポールが運営する保育園にて

新年あけましておめでとうございます。

私たちの社会には課題が山積しています。感染症が世界に広がり、若者にとっては人生の基礎となる自由な時間が奪われ、また多くの人が社会との断絶や貧困によって生きづらさを感じています。ウクライナでの紛争は、今までの平和への取り組みに欠けていたものは何だったのかと考えさせられます。私たちはこれら壊れたものをもう一度つなぎ合わせ、新しいものとして再生させようとしています。ただし、つなぎ合わせようとする場所には、消し去ることができない深い傷跡があり、その傷跡に向き合うときに、自分の無力を知り、祈ることで真実に向き合うことができます。

昨年7月、世界YMCA大会がデンマークで開催されました。世界に広がるYMCA運動が、世界規模でインパクトを生み出すことができるように、VISION2030が決議されました。ポイントは4つあり、その1つ目がCommunity

Wellbeing、コミュニティウエルビーイングです。

コミュニティという言葉は広く使われている一方、「あなたにとって居場所になるコミュニティがありますか?」と問われ、即答できる人は少ないのではないのでしょうか。それは、お金を支払えば手に入れることができる経済社会が蔓延して、コミュニティの価値を過小評価し、また、福祉については国の制度に任せ過ぎて自分たちで幸せに生きる社会をつくる取り組みが不足していたからではないのでしょうか。

YMCAは、Spirit(精神)、Mind(知性)、Body(身体)のバランスの取れた全人的な成長を目指し、それが実現する場所になることを目指しています。私たちは、キャンプやスポーツ、保育園、学校、高齢者支援等、具体的な事業を通して一人ひとりと向き合っています。私たちの目標は、一人ひとりが全人的に成長し、誰かとの出会い、つながり、自分の居場所があるコミュニティをつくり、良き地域社会をつくることです。

YMCAは世界120の国と地域で、同じ願いの下でYMCAの事業を進めています。世界各地で発生する痛みや苦しみは、私たちのものです。それは、イエスが問う、「隣人とはだれですか」の問いに答えたものです。グローバルな視野を大切にしてきた大阪YMCAにとって、コミュニティは必ずしも日本国内に限りません。皆さまと共に、視野を広げ、自分から声をかけ、希望をもって共に生きる社会の実現を目指して参りましょう。



大阪YMCA 総主事

おがわ けんいちろう  
小川 健一郎

### ■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭、地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み、平和で公正な世界をめざします。

# 第27回 大阪YMCAインターナショナル・チャリティーラン2022

11月13日(日)、花博記念公園鶴見緑地特設コースにて第27回大阪YMCAインターナショナル・チャリティーラン2022が、チーム総数91(グループ、ファミリー含む)、ランナー総数256名の参加申込(当日参加155名)、運営ボランティア40名によって開催されました。また皆様のご協力により、1,246,000円(11月29日現在)の支援金を集めることができました。ご支援いただきました企業、各種団体、ワイズメンズクラブをはじめ、関わっていただいた全ての方に感謝申し上げます。

チャリティーランに寄せられた支援金を、大阪YMCAの障がい児・者支援プログラム実施費用として、大切に用いさせていただきます。

## チャリティーランが支援する2022年度 大阪YMCA実施 障がい児・者支援プログラム

- 発達障がい児体育プログラム(サポート体育)
- 知的障がい児水泳プログラム(エンジェルスイミング)
- 児童発達支援相談

雨にも負けずスタート!



ストライクアウトコーナーも登場! ノルディックウォーキングも開催! 留学生のボランティアのみなさま



三菱商事 DREAM AS ONE. 賞は、起立性障害者参加メンバーが受賞!



コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社さまよりドリンクをご提供いただきました。



アマゾンジャパン社員のみなさま

## 140周年記念コラム⑤ 大阪YMCAの障がい児・者支援プログラムの歴史

YMCAは戦後まもない1950年代から、社会に先駆けて、障がい児・者の支援活動を行ってきました。



1953年肢体不自由児のためのキャンプ(神戸YMCAのホームページより)



第36回聴覚障がい青少年国際キャンプ

- 1953年 日本で初めて肢体不自由児のためのキャンプを余島キャンプ場で実施。(神戸YMCA主催、朝日新聞社共催、神戸ライオンズクラブ後援)
- 1975年 第1回聴覚障がい児国際キャンプを大阪・香港YMCA共催により香港ウ・カイシャ・キャンプ場で開催。
- 1977年 ハワイの聴覚障がい児とともに国際キャンプを六甲研修センターで実施。(大阪YMCA主催)
- 1979年 「情緒障がい児体育教室」を高槻YMCAで開始。
- 1987年 チャック・ウイルソンさんが提唱し、全国初のチャリティーラン\*を東京で開催。  
※障がいのある子どもたちを支援するとともに、「障がい」への社会的な理解と関心を高めることを目的とした駅伝大会
- 1995年 エンジェルスイミング(知的障がい水泳教室)を南YMCAで開始。
- 1995年 障がい児・者支援プログラムのための第1回大阪YMCAインターナショナル・チャリティーランを大阪城公園で開催。
- 2016年 第36回聴覚障がい青少年国際キャンプ(HH国際キャンプ)を六甲山YMCAで実施。(大阪YMCA・大阪ワイズメンズクラブ共催)

# 大阪YMCA大会2022

11月23日(水・祝)に大阪YMCA大会2022を開催しました。  
今年は3年ぶりに会場でのリアル開催が実現し、会場へのご来場者120名、オンライン参加者99名の合計219名の方にご参加いただきました。



## 第一部

吉川 尚志大会実行委員長による開会宣言で始まりました。  
会員表彰では、長年にわたり顕著な奉仕活動をされた会員や永年継続会員の表彰、特別献金感謝の表彰を行い、若坂 二規会長と小川 健一郎総主事より感謝状や記念品が贈呈されました。大阪YMCAの活動をお支えいただいている皆さまに感謝申し上げます。

## 第二部

### 「みつかる、つながるYバーチャルシティー」発表会

日本のYMCAで最初のボランティアのオンライン交流プラットフォームとして、バーチャルシティーを用いた活動紹介やボランティア募集の紹介を行いました。「ユースボランティア活動」では普段子どもたちとしているゲームを会場の皆さんと一緒にやり、活動の紹介をしました。「OD(起立性調節障害)キャンプ」では実際に参加した生徒の生の声を聞くことができ、YMCA活動の多様性・必要性を発信しました。「表コミボランティア」では表現・コミュニケーション学科の高校生の学習サポートをしているボランティアの方から、様々な価値観に触れて自身が学べる場でもあるというお話を聞くことができました。「国際奨学金」では奨学生が自分の夢に向かって様々なことに取り組んでいるお話を聞き、大きな希望を持つことができました。  
これからのYバーチャルシティーにご期待ください!



## VISION150座談会

10年後、大阪YMCAは創立150周年を迎えます。その時にどのような大阪YMCAになって欲しいかという期待について、中学生のユエルネスメンバー、高校の在籍生、専門学校に在籍している留学生、ユースボランティアリーダー、学院高校卒業生というユース世代の代表者による座談会を開催しました。代表者は事前にユース世代が所属する6つのカテゴリーで小座談会を実施し、その中から選出されました。共通して、大阪YMCAは「つながり」が生まれる場所があり、リーダーや教職員の「やさしさ」や「話しやすさ」という良さがある。「安心してチャレンジできる環境」があり、10年後も続いて欲しいという声がありました。今回の座談会でのユースの声は、策定中の大阪YMCAのVISION150につなげていきます。



## 受賞者インタビュー

やすだ けいこ  
保田 圭子さん(25年継続会員表彰)



25年継続会員として表彰していただき、大変うれしく思います。25年は無理だろうと思っていましたが、気が付けばここまで来てしまいました(笑) まだまだ元気なうちはたくさんYMCAに関わっていきたいと思っています。よろしくお願いします。

はまざき しょうぞう  
浜崎 正三さん(50年継続会員表彰)



コロナ禍でしばらく会えてない人もいたので、久しぶりに集まることができ嬉しかったです。今回も若者がたくさん自分の意見を発表する機会があり、非常に良かったと感じました。オンラインでのプログラムもありましたが、今後はそういうシステムを使って遠方にある会員ともコミュニケーションが取れればいいなと思いました。

## 2022年度受賞者の皆さま (敬称略)

- 奉仕の書  
奉仕の書は、長年にわたり顕著な活動をされた会員の方のご芳名を「奉仕の書」に記し、その働きを讃える賞です。  
小池 晃 寺岡 博也
- 特別感謝 部坂 仁
- 特別献金感謝  
阿舎利 くるみ STEPHEN KAO 鉄谷 明 吉田 由美  
大阪高槻ワイズメンズクラブ 大阪長野ワイズメンズクラブ  
大阪泉北ワイズメンズクラブ
- 永年継続会員  
【50年継続会員】  
神前 順次 田原 久美子 浜崎 正三 藤井 道雄 八束 浩一  
【25年継続会員】  
池田 雪子 江見 淑子 大岸 弘子 菅田 斉 桑原 頼子  
阪本 聡子 朱 幸亨 保田 圭子 脇本 博
- 【10年継続会員】  
井上 加奈 大西 可奈子 岡山 有希子 川添 貴子 川俣 茂  
齋藤 中哉 竹野 寛美 浜野 慎也 松本 祐香史 八木 恒朗  
山口 ひかる
- 日本YMCA同盟表彰  
日本YMCA大会(11/25-27)にて表彰、受賞された皆さま  
【青少年奉仕賞】 松尾 博之  
【25年継続会員賞】  
江見 淑子 大岸 弘子 桑原 頼子 阪本 聡子 佐藤 祐規子  
福山 正和 保田 圭子 脇本 博  
【50年継続会員賞】  
金岡 重雄 神前 順次 田原 久美子 錦織 一郎 浜崎 正三  
藤井 道雄 松野 五郎 森本 武 八束 浩一  
【25年勤続者賞】 北澤 圭太郎

# 6YMCA協議会報告

大阪YMCA英語幼稚園土佐堀園 スタッフ よしおか ゆり 吉岡 祐理

11月1日(火)から11月4日(金)までシンガポールで「6YMCA協議会」が開催されました。香港中華、ソウル、ホノルル、台北、メトロポリタンシンガポール、大阪の6つのYMCAから22名が情報交換やフェロシップ(志を同じくする仲間意識)を再確認するために集まりました。例年は年に1度開催されますが、コロナウイルスの影響により3年ぶりの開催となり、大阪YMCAからは私を含め4名が参加しました。

各YMCAのコロナ禍の状況共有や、「社会貢献」というテーマを軸に現地のYMCAや行政と企業の共同事業などが行うサービスの

見学や体験をするプログラムが組まれていました。協議会全体を通して、大阪YMCAには家族の様に支え合える海外のYMCAが5つもあることを知りました。ディスカッションや交流の中では、同年代のスタッフ同士でそれぞれの現場で交流できる機会を模索し、新しいフェロシップが作れたことに感謝しました。今回できたつながりを今後も大切にしながら、さらに強めていきたいと思っています。



いまこそ、いじめについて行動しよう

## ピンクシャツデー2023 ～ PINK SHIRT DAY 2023 ～

大阪YMCAでは、2015年度より「いじめ」と向き合う取り組みのひとつとして、毎年ピンクシャツデーを全国YMCAと共に実施しております。これまでの継続した取り組みにより、年々地域の行政、教育委員会からの後援や賛同、小中高校での取り組み、企業・団体の協賛など広がりを見せています。

「いじめ」の問題は、大きな社会課題ですが、学校や地域社会において様々な取り組みが行われ、一定の成果が見られています。しかし、低年齢層におけるいじめやネットいじめの増加傾向、職場のハラスメント相談件数の増加など、子どもやユース世代においては、複雑さと深刻さが増しているといわれています。

YMCAでは、このような深刻ないじめの問題に対して、学校・教育機関、地域社会、企業・団体、行政の皆さまと共に、一人ひとりが「傍観者にならない」こと、「自分ではない誰かのために」行動することを呼びかけ、ポジティブで前向きな「よくなる」の連鎖を生み出していきたいと考えています。

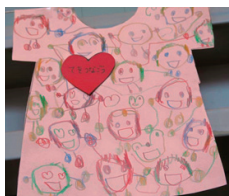
そのために、大阪YMCAでは、全国YMCAと共に世界的な「いじめ」反対運動であるピンクシャツデー(PINK SHIRT DAY)2023を実施いたします。

**ピンクシャツデー：2023年2月22日(水)**

**取り組み期間：2月1日(水)～2月28日(火)**

### ピンクシャツデーとは

2007年、カナダでピンクのシャツを着て登校した少年がいじめられました。それを見た2人の生徒が50枚のピンクのシャツを友人・知人に配り、翌日登校します。学校では呼びかけに賛同した多数の生徒がピンクのTシャツを着て登校。学校中がピンクに染まり、いじめが自然となくなったそうです。そのエピソードがSNS等で世界中に広まり、今では70カ国以上でいじめに対する活動が行われています。カナダで最初にこの出来事があった日が、2月の第4水曜日でした。それ以降、2月の第4水曜日には私たちがいじめについて考え、行動する1日としています。



## インフォメーション

### 早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

#### 第345回

日時：2023年1月20日(金) 7:30～8:15

証し：谷川 寛さん(大阪センテニアルワイズ会員、元財団法人大阪YMCA理事)

場所：大阪YMCA会館(土佐堀) 10階チャペル

#### 第346回

日時：2023年2月17日(金) 7:30～8:15

証し：片山 咲さん(大阪YMCAユースボランティアリーダー)

場所：大阪YMCA会館(土佐堀) 10階チャペル

※朝食会はありません。

※中止の場合は大阪YMCAホームページ「NEWS 新着情報」でお知らせいたします。



大阪YMCA 統括本部 総務

TEL：06-6441-0894

E-mail：info@osakaymca.org

## 会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2022年11月度報告・敬称略

### 【継続会員】

小路 清一

三浦 明

三宅 玲子

望月 強

吉村 周平

### 【継続賛助会員】

有限会社杉本写真場

一般社団法人 The Honolulu Academy of Medicine

レックス工業株式会社

大阪YMCAのホームページで  
その他の情報をご覧ください  
ます。

